砂防の父 赤木正雄 展示館 だより

第9号　R04 2月

トピックス

『但馬と土木』セミナーが、砂防の父赤木正雄展示館、兵庫県砂防ボランティア協会、兵庫・神戸まちと歴史の研究会及び、兵庫県建設業協会但馬地区協議会により、豊岡市の「じばさんTAJIMA」にて開催され、約160名が参加しました。砂防の父赤木正雄伝『砂防一路物語』が講談師の、旭堂 南海氏により演じられました。熱い語りに魅了され、盛況のうちに幕を閉じました。

R03.11月7日　じばさんTAJIMA

IV b-9

円山川にまつわる土木偉人の地域的評価に関する研究

17-1-038-0094　（豊橋工学研究室）

1. はじめに

近年水害が多発し、兵庫県では防災対策の必要性・重要性を県民に伝えるためのシンポジウムが開催されており、治水・砂防の基礎を築いた豊岡出身の土木偉人である神野忠雄（写真-1 左）と赤木正雄（写真-1 右）の人物像などが紹介されている。本研究では文献調査及びヒヤリング調査によって両者の経歴・家柄・記念碑・像から地域的評価の明確化を目的とする。

2. 2人の土木偉人と円山川の概要

神野忠雄は兵庫県豊岡市久義（図-1）、赤木正雄は兵庫県豊岡市引野（図-1）に生まれる。大学卒業後内務省に入り神野は治水工事、赤木は砂防工事を全国各地で数多く手掛け、「治水の神様」・「砂防の神様」と呼ばれている[1]。

写真-1 神野忠雄（左）と赤木正雄（右）（出典：近畿地整豊岡河川事務所ウェブサイト）

円山川（写真-2）は兵庫県朝来市生野町円山を水源とし、日本海へと流れる一級河川である。かつては多くの住民を悩ませた「暴れ川」であり、中でも「大蟹の大曲がり」と呼ばれる湾曲部分は改修の最重要点であった[2]。

写真-2 円山川

3. 2人の土木偉人における経歴

神野忠雄と赤木正雄の地域的評価を明らかにするため、生まれ育った環境・家柄・故郷への貢献度などを比較し考察する。

(1) 生家周辺の地形

神野は大蟹の大曲がりの水衝部付近で生まれた。この地域では円山川増水時に近くの集会所（図-1）に設置されていた早鐘が打ち鳴らされていた可能性が高く、この緊迫な音は記憶の中に刷み込まれていたと考えられる[3]。赤木は円山川と出石川の合流部付近の低地で生まれ育った（写真-3）。現在は立派な堤防が築造されているが、以前は堤防が部分的に造られ流路が定まっていなかったことから赤木の生家付近を円山川が流れていたこともあった。また洪水が多発していたことから離村する人も多かった。従って両者は幼少期に身をもって洪水の恐ろしさを体験していたと考えられる。

写真-3 赤木の生家

(2) 家柄

神野は下級武士の家で生まれ青年期に養子に出されている。赤木は大庄屋の家で生まれ育ち、実家が地域の防災拠点の役割を果たしていた（写真-4・5）。また赤木家は所有田畑面積が但馬全域で２番目に多く大地主であった。父親は引野村の庄官であり、私費を投じてまで堤防を改修するなど公共事業に熱心であった。

図-4 赤木家の表門

写真-5 赤木家の水防竹林

(3) 故郷への貢献度

神野は洪水の多かった円山川付近で生まれ育っているため感覚からの河川改修に対する強い願望を充分に理解していたが、全国の数多い暴れ川を前にして私情を挟まず危険な河川から改修していた。全国の暴れ川の中でも円山川は第二順河川の低位ランクに位置づけられていたことから改修は後回しとなり、神野による故郷への貢献は少なかった。

赤木は内務省技師・政治家として全国の工事に加えて、円山川の一級河川編入や但馬小中河川改修などに尽力していたことから故郷への貢献は多かった。

(4) 退官後の議員経験の有無

神野は退官後３年で他界していることに加え、人員の関係と四囲の事情などの問題により貴族院への推薦がなくなったことから議員経験がない[3]。

赤木は同郷の貴族院議員である古島一雄の推薦などが当選した理由の一つである[4]。また但馬地方の河川工事などに大きく貢献し、地元での知名度が高かったことが参議院議員当選に関係していると考えられる。

(5) 豊岡市名誉市民の称号の有無

赤木は 1971 年に豊岡市の名誉市民に選ばれ授与さ

☆ 展示館に数回訪れた近畿大学生が、卒業研究のテーマとした論文、「円山川にまつわる土木偉人の地位的評価に関する研究」が、土木学会関西支部の年次学術講演会において、優秀発表賞として表彰されました。

R03. 5月

☆ 豊岡南中学校の生徒さんが、展示館周りの水路を描き、第70回兵庫県幼・小・中造形教育展に応募し、特選に選ばれました。

H30.11月

主な運営状況

・6/25 豊岡まち塾 松井副塾長　ご一行来館

・7/21 香川大学 長谷川教授　ご一行来館

・7/24 兵庫県立大学 川村教授ご一行来館

・10/23県立大学自然災害教育研究Gご一行来館

・10/29 中筋小学校2年生「まち探検」で来館

・10/20 国土交通省 水管理・国土保全局
　三上砂防部長 ご一行来館

・11/9 奈良県砂防ボランティア協会ご一行来館

奈良県砂防ボランティア協会
砂防の父赤木正雄展示館 見学

※見学者数 4月～1月末累計 203名
（前年同期 152名）